

とうめい



「咲き誇る」

ジャカランダは南米産の花ですが、葉は緑、花は紫で美しい落葉高木です。熱海親水公園にあり、気候の関係で開花しない年もあり、咲いているのは珍しいそうです。

透き通った花と葉で爽やかな気持ちになります。

フォトサークルA 熊澤秀子

●目次

咲き誇る	1P	特集 第4事業部	5P
医療記事「乳がんについて」	2P	標語とポスター 内視鏡センターだより	
リハビリ通信「足がつるのはなぜ??」	3P	かけはし ~登録医紹介~	6P
マンモグラフィーセンター		働く仲間	
がんサロン開催「がんと就労を考える」	4P	第2事業部	7P
市民講座 第4回糖尿病教室 開催のお知らせ 糖尿病チーム ブログ開設		納涼祭 ボランティア紹介	
		ペットのはなし	8P
		編集後記 関連施設一覧	

乳がんについて

乳腺外科◆鎌田 順道

皆さんは乳がんときいてどのようなイメージをもっているでしょうか？「手術」、「抗がん剤」、「治らない」など怖いイメージをもっておられる方も多いことかと思えます。芸能人が乳がんになったニュースが話題になることもよくあります。

今や、日本人女性の12人に1人が生涯の間に乳がんになると言われています。年間約86,000人が乳がん罹患すると推計されており、女性のがんでは第1位となっています。一方で、他のがんと比較すると死亡率の少ないがんとして知られており、早期で発見しきちんと治療を行えば、死亡する可能性は極めて低いといわれています。

乳がんが診断された方から、「なぜ私のがんになったのでしょうか？」という質問をよく受けます。喫煙、肥満、アルコールなど乳がんとの関連が疑われている要因もあるのは事実です。しかしがんになることを防ぐ完全な予防策はほぼなく、「これをやれば(やらなければ)がんにはならない」ということはありません。12人に1人がなる病気ですから、「私が乳がんになる訳がな

い」という思いを捨てて、検診を受ける習慣をつけてください。早期発見のチャンスを積極的に得るようにすることが大事です。

近年乳がんの治療はめざましい進歩を遂げています。手術に関しては乳房温存手術の割合が増え、整容性にこだわった手術が行われるようになっていきます。また代表的な手術の後遺症である「うでのむくみ」を生じさせないためにセンチネルリンパ節生検が盛んにおこなわれ、脇の下のリンパ節に転移がない人に対しては、リンパ節切除を省略することができます。より安全に体にも負担のない手術が行われるようになってきました。

一方で乳がんの治療は非常に複雑なものとなっています。進行度の低い胃がんや大腸がんの場合の治療は手術のみで、その後は経過観察のみで終わることも多いのですが、乳がんはたとえ早期であったとしても、手術のみで終わることはありません。手術後に放射線治療、抗がん剤、分子標的治療薬、ホルモン療法などを組み合わせ治療を行っていきます。

もし乳がんが診断されたら

がんが診断されると誰もがあせってしまうことでしょう。まずは気持ちを落ち着かせることが大事です。担当医を信じて治療にのぞむのがいいと思われれます。最近ではエビデンス(根拠)に基づいた治療が一般的に行われており、中規模以上の病院であれば、病院長や医師による治療方法に差はほぼありません。もし担当医と話を納得がいけないときや、他の医師の意見を聞きたいときはセカンドオピニオンを聞きにくいのもよいと思います。

現在では多くの方がスマートフォンを持ち歩き、すぐにインターネットで病気の情報を調べる人も多いかと思われれます。しかし、インターネットには不確かな情報や間違った情報、時代遅れの情報も非常に多く載っていますので注意してください。「〇〇を飲んだらがんがみるみる小さくなった」とか「△△療法でがんが消えた」といった標準的とは思えない治療が載っていることがあります。これらの多くはエビデンス(根拠)のない治療法です。病気に少しでもよいというものがあれば試してみたいという気持ちはど

たもお持ちだと思えますが、これらの情報に振り回されると健康や時間お金といった大事なものを失いかねませんので気をつけてください。

残念なことに、このような治療法を信じたために本来失われるはずのない命が失われるケースも少なくありません。

当科での乳がん治療について

当院ではエビデンス(根拠)に基づいた治療を基本として、個々の患者さんにあつた治療を提供いたします。乳がんの治療を行うためには、精通している医師はもちろんのこと、一緒に診療する形成外科、放射線治療科などの医師、院内各部署の看護師、技師、ソーシャルワーカーなどのスタッフがそろい、各種の検査、手術、放射線治療、化学療法ができる設備が整っていないければなりません。東名厚木病院では上記のすべてが揃っている病院です。2017年には最新型の放射線治療装置を導入し、乳房温存手術後の放射線治療も盛んにおこなっております。なにかありましたら安心して受診していただければ幸いです。



リハビリ通信 第48回

足がつるのはなぜ??

◆「こむら返り」とは?

自分の意思に関係なく、足の筋肉が突然けいれんを起こすことがあります。多くはふくらはぎに起こり、昔はふくらはぎを「こむら(腓)」と叫ぶことから「こむら返り」と呼ばれています。医学用語では「有痛性筋けいれん」といいます。

◆中高年は足がつりやすい!?

足がつる原因として、若い世代の場合は運動中に起こりやすく、筋肉疲労が原因の1つに考えられています。中高年になると、軽い運動だけでなく睡眠中にも起こり、激しい痛みや違和感が翌日まで残る方もいます。その理由は、

加齢による筋肉量の減少、脱水症状、動脈硬化などによる血行不良と冷え、病気や薬の副作用など様々な要因が重なりやすいためだと言われています。

◆自分にあった予防策を!

まずは定期的な運動で筋肉量の低下を予防しましょう。また、睡眠中も汗をかきミネラルが消費され、冷えによる血行不良がおきやすいので注意しましょう。

① フットケア 疲労が蓄積しないように1日の終わりにふくらはぎを軽くもむ

② 足の運動 反動をつけないストレッチやタオルギャザー(イラスト参照)

③ スクワット 適度な足の屈伸は筋肉量を維持し、血流をよくして疲労回復

④ 食事などの見直し ミネラルの不足がないバランスのよい食事を取る。

足のむくみにも注意しましょう。



いかがでしよ
うか?慢性化で
ご心配な方は、早めに医療機
関に相談しましょう。

リハビリテーション科

中橋 真弓

マンモグラフィーサンデー 2019



J.M.S

2019年
10月20日

多忙な平日を
お過ごしの方の皆様へ

日曜日に
乳がん検査を
受けられる日です。

当施設では、NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)の「年に一度、日曜日に全国でマンモグラフィー検査を受診できる環境を作ろう」という主旨に賛同し、「ジャパンマンモグラフィーサンデー」を毎年開催しています。乳がん検診を気軽に受診できるこの機会をぜひご利用ください。

今まで乳がん検査に行ったことが無い方、最近忙しくて行っていない方等、日曜日に受診出来るこの機会に「乳がん健診」を受けてみませんか。

当日はマンモグラフィーサンデーでしかできないイベントもあります。受付および検査技師を含めすべて女性が対応しますのでご安心ください。

10月20日(日)に乳がん検査が受診できます

「ジャパンマンモグラフィーサンデー(J.M.Sプログラム)」は、多忙な平日を過ごしておられる女性の皆様のために認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)が全国の医療機関に呼びかけた、「10月第3日曜日に全国どこでも乳がん・マンモグラフィー検査が受診できる環境づくり」への取り組みです。

全国の検査施設のご案内はホームページにて
ホームページアドレス <http://jms-pinkribbon.com>

J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動
ホームページアドレス <http://www.j-posh.com>



日時: 10月20日 日曜日 8:30 ~ (完全予約制)
場所: 東名厚木メディカルサテライトクリニック
(厚木市船子224)
検査項目: マンモグラフィー・乳腺エコー

料金: 各5,000円(税込)
申込方法: お電話にてお申込ください
(046-229-1937)
月~金 / 7:30 ~ 16:00 土 / 7:30 ~ 11:30

がんサロン開催

「がんと就労を考える」 講演会を開催しました

7月20日(土)の午後、「がんと就労を考える」をテーマにがんサロンを開催しました。

当日はハローワーク厚木の就労サポーターからの講演・がん当事者の方のお話・医師を交えたトークセッションを催し、54名の参加がありました。

がん患者さん達が病名を告知された段階で離職される実態や、当事者の方の『がんと向き合い働く』という意識や生活の工夫について学び、参加者の皆様とも活発な意見交換が行われました。がん当事者の方のみならず、患者さんを支えるご家族の思いや悩みも共有することができました。当日はウィッグや

補正下着の展示、栄養ドリンクのご紹介等もありました。

次回のがんサロンは10月12日(土) 予定しています。皆様のお越しをお待ちしています。

患者総合支援センター 福田美香



トークセッションに参加した日野医師、神山医師

市民講座 第4回 糖尿病教室 開催のお知らせ

糖尿病は高血糖状態が続くと様々な合併症を引き起こし生活の質を損なってしまう病気です。一方で治療は確立しており、診断早期から生活習慣を見直し、治療を開始して、血糖・血圧・脂質・体重等うまく管理すれば、合併症を起こさず健康を維持することが可能です。

当院糖尿病チームは例年11月、地域の皆様向けに、糖尿病について知り、健康に役立てていただくためのイベントを開催しています。今年は『糖尿病とともに健康に生きる』をテーマに、楽しみながら学んでいただけるよう企画しました。参加費無料、ご予約不要です。皆様のご参加をお待ちしております。

東名厚木病院・とうめい厚木クリニック
糖尿病チーム一同

糖尿病とともに健康に生きる

続けていきたい運動の話！ 知って良かった食事の話！
食事、運動、予防、治療の知識を深め、
ライフスタイルを見直しませんか？

2019年 **11月16日** (土)
10:00~11:30 (開場：9:30)

- ◆会場 東名厚木病院 5階 三思会記念ホール
 - ◆参加費 無料
 - ◆対象者 ・糖尿病の方 ・糖尿病予備軍の方
・糖尿病に興味がある方 ・地域医療・介護に関わる方
- 御予約不要です。お問い合わせの上ご参加ください。

プログラム

開会のあいさつ 東名厚木病院 糖尿病・代謝内科 堀賢一郎 医師

毎日続けられる健康体操・リズム体操
東名厚木病院 リハビリテーション科 長谷部 佳奈・四宮 明宏 理学療法士

糖尿病患者様のお話

糖尿病の最新情報

東名厚木病院 糖尿病・代謝内科 佐々木 奈都江 医師

身近な商品を利用した、簡単クッキングの紹介

東名厚木病院 糖尿病・代謝内科 堀賢一郎 医師
東名厚木病院 栄養科 山本 佳奈 管理栄養士

閉会のあいさつ 東名厚木病院 看護部 平林 幸子 課長

糖尿病チーム ブログを開設しています

東名厚木病院、とうめい厚木クリニックでは、多職種による糖尿病チームが療養のお手伝いをしています。私たちの活動の一端をブログで紹介していますので、ぜひご覧ください。

東名厚木病院 糖尿病チーム

検索

<https://www.tomei.or.jp/hospital/blog/>





愛川クリニック

第4事業部



2013年1月に開業して7年目になりました。今年5月で当初目標としていた患者さんの数が愛川町を中心に厚木市北部、相模原市西部地区の患者さんで100人に達しました。

2015年9月には「とうめい厚木クリニック」の丸山先生をお招きして小児科を開設しました。愛川町には小児科をメインにしている医療機関が無く、地元のニーズが多く、年々患者数が増えています。

ここ愛川クリニックは、地元の患者さんにとっても愛されていて、患者さんが写真のようにクリニックの周りを毎年ひまわりでいっぱいしてくれます。散歩等で通る人が携帯で写真を撮って

く姿を良く見かけます。クリニック内にもひまわりを飾って雰囲気づくりの一役になっています。

毎年6～7月が見頃になっていますが、今年は梅雨の時期が長く晴天のもとひまわりが咲き誇るの場所を見たのは数日しかありませんでした。ひまわりの次は10月頃に咲く予定でコスモスの種を蒔く予定です。今度はコスモスが咲き誇る写真をお見せできればと思います。 事務長 鈴木 禎見



標準予防策

標語とポスター



院内感染対策室
中嶋 君江

院内感染対策委員会での標語・ポスターのテーマは「標準予防策」です。標語は「画像への標語当てはめ式」として、日野副院長と伊藤看護部長の写真、中先生の写真も使用させていただきました。流行を取り入れたアイディア満載の、標語42題、ポスター6題の応募をいただき、web上で投票を行い入賞作品の発表と表彰を8月5日の朝礼で行わせていただきました。入賞作品は年間を通して院内へ掲示させていただきます。

職員の皆様、来年の標語・ポスターの表彰はあなたかもしれません、来年も皆様からの応募をお待ちしています。

内視鏡センターだより

地域の皆様、今年の夏は例年にないくらいの猛暑続きですがいかがお過ごしですか？

自身の身を守るためにも熱中症対策をして頂き、少しでも体調に異変を感じた場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。

当センターでは、「なるべく苦痛のない検査」が提供できるよう体制を整えております。

例えば、経口からの胃カメラが苦手な方には経

鼻内視鏡や鎮静下での検査も対応可能です。大腸内視鏡検査の前処置である腸管洗浄は、ご自宅での対応が不安な方にはセンターに来院してからの対応も可能となっております。ご希望の場合は、とうめい厚木クリニック受診時にご相談ください。



消化器内視鏡技師
(看護師) 平井弘子

かけはし 登録医紹介

のじ脳神経外科・しびれクリニック

vol.28

《所在地》

〒243-0018
厚木市中町3-12-16 2F
TEL. 046-225-4100

院長
野地 雅人



はじめまして！本厚木の駅より徒歩3分の場所で「のじ脳神経外科・しびれクリニック」を開業する野地(のじ)と申します。

以前勤務していた病院で開設していた「しびれ外来」を中心に、一般の脳神経外科・神経内科疾患、脊椎脊髄・末梢神経疾患と神経の広い領域の病気について総合的にかつ丁寧に診察、診断、治療をしていきたいと考えております。

また3T(テスラ)の高性能の最新MRIやCTだけでなく、神経伝導速度測定装置や超音波断層装置も完備しており、小さなクリニックながら大病院に引けを取らない設備と自負しております。「脳・脊髄・末梢神経のかかりつけ医」として地域の皆様に寄り添い、末永くサポートさせて頂きますので、どうかよろしく願いいたします。

《略歴》

- 横浜市立大学医学部 卒業
- 横浜南共済病院、七沢脳血管センター等勤務を経て
秦野赤十字病院 脳神経外科 医長
- 神奈川県立病院機構神奈川県立足柄上病院 脳神経外科 部長

《資格・所属学会他》

- 日本脳神経外科 指導医・代議員
- 日本脊髄外科学会 指導医・代議員
- 日本脳卒中学会 専門医
- 横浜市立大学医学部非常勤講師
- 日本体育協会公認 スポーツドクター
- 神奈川県体育協会
- スポーツ医科学委員会委員
- 日本ボクシング連盟医事委員会
- 関東ブロック委員長
- 日本ボクシングコミッション登録ドクター
- 日本脳神経外科学会 代議委員
- 日本神経外傷学会 学術評議委員
- 日本神経外傷学会スポーツ頭部外傷検討委員会委員
- 日本臨床スポーツ医学会頭部外傷検討委員会委員
- 日本神経学会スポーツ神経内科セッション委員
- 文部科学省「体育活動中の事故防止に関する調査研究」研究班委員

働<仲間

入職／平成3年3月1日
氏名／高橋 晃代
看護部 4号館4階病棟
ケアワーカー



病棟のケアワーカーとして勤務し5年が経ちました。配属された当初は介護の仕事が初めてだったので、先輩方に色々教えていただきました。少しずつ仕事にも慣れ、最近では介護の楽しさや、奥深さを感じています。

私の勤めている病棟の入院患者さんは、大半が高齢者です。認知症の患者さんも多いことから、認知症患者さんへの理解と、接し方などの勉強会に参加し、昨年度、認知症ケア専門士の資格を取得しました。このことで今までより、患者さんの行動に対して理解が深まり、患者さんにストレスを与えない対応が出来るようになってきました。より一層、病棟スタッフとも情報を共有し、患者さんの気持ちに寄り添い、安心して治療に専念出来る環境づくりに取り組んでいきたいと思っております。これからも引き続きご指導を宜しくお願い致します。

入職／平成26年4月1日
氏名／一戸 裕貴
臨床工学科



臨床工学技士となり、当院で働き始めて6年目となりました。臨床工学技士の役割である医療機器点検・管理業務や診療補助業務は、年々、様々な医療現場へ拡大しています。当院でも、病棟や透析センター、内視鏡センター、カテーテル検査室、手術室などに臨床工学技士が配置され、日々業務にあたっています。私も手術室を中心として様々な業務に携わらせて頂いており、経験年数の早い段階からこのような経験を出来ることは、当院の臨床工学科の強みだとも思います。

また、近年では、各領域で、より専門的な知識や技術を持ち、質の高い医療に貢献することを目的として、専門臨床工学技士認定制度が日本臨床工学技士会より発足しました。私もより一層、当院に貢献できるよう、いくつかある専門領域の内、手術領域の取得を目指して、日々励んでいます。まだまだ未熟な点はあると思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

第2事業部

★特色のある通所リハビリテーションを展開★

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

前号まで介護老人保健施設さつきの里あつぎからの連載でしたが、今回より第2事業部からの連載となっております。引き続きよろしくお願いいたします。

当施設は3つの特色の異なる通所リハビリテーションを展開していく予定です。1日利用し、リハビリ・入浴・食事・レクリエーションなど充実したサービスを提供する長時間通所。半日の利用で、目標達成に向けて集中的に運動を行い、リハビリに特化した短時間通所。リハビリテーション専門職が運動機能や生活状況を評価し、個々にあったリハビリ計画を立案し、自主的に運動を行う環境を提供する介護予防通所があります。

介護度や生活の変化によって、必要とされるサービスが変わっても3種の通所リハビリを選択しながら慣れた施設・スタッフで対応できるのが当施設の特徴です。今後、地域の期待に応えられるよう職員一同、取り組んでいきたいと思っています。



表紙の写真



～ボランティア紹介

＜フォトサークルA＞～

この機関誌「とうめい」の表紙を、美しく飾っていただいている写真は、ボランティアで活動されている＜フォトサークルA＞の方々からのものです。季節毎の写真は、素敵な風景などでたくさん届いており、どの写真を選んだら良いか毎回悩んでいます。

また、写真は病院内の渡り廊下にも飾られており、こちらも定期的に飾り換えが行われ、患者さんや面会の方々、そしてスタッフもその写真で癒されています。

今後も素敵な写真を楽しみにしております。



納涼祭

7月20日(土)に令和初の納涼祭が行われました。今年は雨天の中の開催となりましたが、開始時刻と同時に、地域の方々や職員の家族など多くの方が来場してくださいました。



毎年恒例の焼きそば、焼き鳥、かき氷に加え、新しく玉こんにゃく、じゃがバターの出店がありました。なかでも新メニューの玉こんにゃくは大好評でした。毎週金曜日、とうめい厚木クリニックでパンを販売してくださっている、にこにこパン工房の出店もあり、とくに揚げパンは大人気でした。好評頂いている縁日コーナー、チャレンジコーナーでの皿回しは、子供から大人まで楽しんでいました。さらに、今年から機関車トーマスも登場し大盛り上がりでした。野外ステージでは、よるず音楽隊、フラダンス、大道芸チームがパフォーマンスを繰り広げ、今年もボディービルダーが参加され、会場がさらに盛り上がりました。恒例のくじ引きでは、参加者の方々に楽しんで頂けたと思います。

御協力頂いたの方々、ならびに関係者の方々のおかげで無事に納涼祭を終えることができました。ありがとうございました。

東厚会 日浦 安奈



編集後記



●真夏の早朝、江ノ島までのサイクリング。日常とは違う行動をするとマクドナルドの朝食まで特別なものになるので不思議です。
(クッキー3)



●夏山 富士山へ。絶叫マシンの声をBGMに青々と広がるお姿に、しばし暑さ忘れ。冬に病院からみられる雪の富士山もまた格別。
(とんぼ玉)



●電車が大好きな息子と一緒にロマンスカーに乗ってきました♪大好きなMSEに大喜びでした!
(バナ男)



●田舎から地酒を頂きました。日本酒もおしゃれになってきましたよね。我が田舎の酒蔵も頑張っているなと感じました。では美味しく頂きま〜す。
(リトルミイ)



●川崎大師で毎年行われている風鈴市。全国各地から様々な風鈴が集まり、涼やかな音色を聞かせてくれます。ちなみに自宅では、100均産が頑張ってくれています。
(里うさぎ)



●初めてのマンゴー食べまくりの旅は毎日山盛りマンゴー♪でも食べ過ぎてアレルギー反応一歩手前!何事もほどほどですね。
(豆大福)



ペットのはなし

その58

我が家の4匹の猫達

8年前、訪問看護をしているときに、ご利用者の軒先で、野良猫が子供を産み、一匹貰うことになりました。野良ですから、すばしこくて・・・、その中で、容易に捕獲されてしまったどんくさい雌猫が、我が家の最古参となったロコ。家に連れて帰る途中で寄った動物病院の名前です。なんともイージーなネーミング!!そのせいか、いまだに噛みます。時々本噛み・・・一年後、イケメン猫のレオ・雄です。顔はいいけど、駄々太り最近、高所に行くのが一苦労。そして昨年、餌付けしてしまった妊娠猫は我が家で出産。残った子猫しらすと母猫あお。先住の二匹と犬猿?の仲。住居は1階と2階、たまに会うと両者唸りあい・・・平和は当分来そうにありません。 なでしこの里リハビリひらつか 内田由美



各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

人工透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/

東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<https://syms.tomei.or.jp>

介護老人保健施設 さつきの里あつき

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

訪問看護ステーション さつき サテライト 愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756



バスの時刻表及びルートが変わりました。

●無料送迎バスを運行しています。詳しくはホームページの無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>